

**第 17 回世界湖沼会議**  
**サテライトつちうら実行委員会**

委 員 名 簿

メ ッ セ ー ジ



第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会 委員名簿

役職	委員	所属団体名
委員長	阿部 彰	(一社)霞ヶ浦市民協会
副委員長	及川 ひろみ	認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会
副委員長	森 浩孝	土浦市地区長連合会
監事	秋元 昭臣	(株)ラクスマリーナ
監事	秋永 吉隆	茨城県霞ヶ浦環境科学センター
委員	鈴木 裕行	土浦農業協同組合
委員	倉田 啓一	東京電力パワーグリッド(株)土浦支社
委員	奥井 登美子	土浦の自然を守る会
委員	篠崎 勉	いばらきコープ生活協同組合
委員	山口 博之	NPO法人エコレン
委員	加賀美 吉彦	土浦商工会議所
委員	伊東 博幸	(一社)土浦青年会議所
委員	吉江 静江	土浦市消費生活連絡協議会
委員	西村 良純	土浦市まちづくり市民会議
委員	臼井 日出乃	つちうらが好き！実行委員会
委員	眞山 淑枝	土浦暮らしの会
委員	大里 雅司	(一社)土浦市観光協会
委員	湯原 豊	(公社)土浦法人会青年部会
委員	大山 直樹	NPO法人まちづくり活性化土浦
委員	吉田 幸二	NPO法人水辺基盤協会
委員	外塚 潔	霞ヶ浦グラウンドワーク
委員	小池 聖彦	国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦導水工事事務所
委員	小栗 幸雄	国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所
委員	鈴木 紀一	茨城県県民生活環境部環境対策課世界湖沼会議準備室
委員	七野 悟	(一社)霞ヶ浦市民協会
委員	大竹 信長	土浦商工会議所 青年部

## サテライトつちうら第2弾「ココにあります霞ヶ浦のミライ」

サテライトつちうら実行委員 認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会 及川ひろみ

第17回湖沼会議のテーマは「人と湖沼—持続可能な生態系サービスを目指して」です。このテーマが決まった時、流域あつての湖沼であることから、当会では全国流域会議開催を検討しました。流域と言えば「森は海の恋人」の著者であり、牡蠣養殖のために森を育てる活動を長年続ける畠山重篤さんをお呼びしたいと、計画を進めました。

其の後、市・県が計画するサテライトで、サテライトつちうら第2弾、霞ヶ浦環境科学センター夏まつりに、霞ヶ浦の流域をふまえた市民会議を行うことになり、当会が企画団体になりました。毎年センターの夏まつりには数千人の親子が来場すると聞き、この機会を通して流域を考える、学ぶ場にできれば、世界湖沼会議が身近なものになるのではと「クイズ大会&流域市民会議」の開催を計画しました。

クイズ大会では霞ヶ浦、霞ヶ浦の漁業、蓮根栽培、茨城の林業、そして里山に関するクイズを出題し、ヒントパネルを作成しました（土浦市宍塚の里山は関東平野最大級の里山です）。当日はパネルを見ながらクイズに答えますが、世界湖沼会議開催の精神をいかしたものになるよう、クイズの内容を考えました。パネルには、それぞれの問題について専門的な知識を持つ会員が付き添い、参加者全員が参加賞・正解賞がもらえるように促しました。8月25日当日、クイズ大会参加者は560名に上りました。

流域市民会議は、まず島根大学名誉教授・前霞ヶ浦環境科学センター長の相崎守弘さんから霞ヶ浦の概要の話をついたのち、市民会議を開催しました。霞ヶ浦で漁業を生業とする漁業者、蓮根栽培農業者、石岡で環境に配慮した林業の従事者、そして宍塚の里山保全に係る認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会副理事長、そして15年間毎月里山で活動する法政大学キャンパスエコロジーフォーラムの学生らによって、霞ヶ浦の未来を見据えた討議を行いました。クイズ大会、市民会議には会員約50名が準備、協力し、開催に当たっては土浦市・霞ヶ浦環境科学センターの方に大変お世話になりました。サテライトつちうら実行委員会による計画で遂行できたと感じています。

### 調和から共生へ・・・私たちの水の惑星

サテライトつちうら実行委員会 副実行委員長  
土浦市地区長連合会 会長 森浩孝

地球は太陽系第三惑星「水の惑星」として生命を育んできました。そしてメソポタミア、エジプト、インダス、黄河の古代四大文明も豊富な水の恩恵にあずかっています。

1992年に生物多様性条約が採択され、1995年に茨城県で開催された第6回世界湖沼会議のテーマは「人と湖沼の調和」でした。そして本年23年ぶりに茨城県で行われる第17回世界湖沼会議のテーマは「人と湖沼の共生」となりました。

「調和」することから「共生」することへの変遷、そして私たちが未来へ託さなければならない水（湖沼）問題のテーマは、人それぞれですが、人類・そして地球上のあらゆる生命にとって、とても重要です。

一人の力はほんとは小さくても、いままであまり気にしなかった「ほんの一滴の水」のことを、みんなで考える良い機会を私たちは迎えています。ある古い時代劇の日本映画の中で、水戸街道の裏道に行く一人の任侠が、霞ヶ浦の水を両手ですくって飲むシーンがありました。

そう！ 水は私たち生物にとって、なくてはならないものなのです。身近な湖沼の環境保全が、人類の使命であることに間違いはないと、湖上で改めて思う次第です。





## サテライトつちうら実行委員になって

(株) ラクスマリーナ 秋元 昭臣

全く何もないことから始まった第17回世界湖沼会議「サテライトつちうら」実行委員会は事務局の綿密かつ、着実な計画によって、初めは漠然としていたことが回を重ねるごとにその姿が見えてきました。会議ではそれぞれの参加者が、何が出来るか、何を行うかを発表し合うことによって相互の理解と信頼が生まれました。毎回予定時刻をオーバーする質疑応答が活発に行われ、予算についても詳細にわたる説明がなされ逐次決まって行きました。年が変わるとより、具体的にはっきりして来ましたし、関連イベントも次々開催され、「七色帆引き」はアイリス号の他に船を仕立てても乗り切れない人気で湖沼会議の盛り上げになりました。土浦港防波堤のアートも仕上がって来て、道行く人達にもアピール出来ています。

ラクスマリーナでは10月13日にメイン会場の水上部を受け持ちました。1つは「ホワイトアイリス号」の乗り場を会場近くの岸壁に移して「ジェットホイルつくば」と共に30分沖の湖上遊覧で帆引き船を見て貰うことです。アイリス号の「霞ヶ浦湖上体験スクール」は年間300回以上の運航を行い、10年間で78,000人を超える小学生が乗船しています。今回そのスタッフが活動事例発表を行います。メイン会場前の土浦港内ではラクスマリーナが年4回行っているイベント「誰でも楽しもう霞ヶ浦」の出前体験として、誰でもすぐ乗れてしまう小型ヨット「アクセスディンギー」「カヌー」の体験を行います。

これらにより多くの方に観て、体験して頂き身近に霞ヶ浦の水環境の大切さを考えて頂く機会になることを願っています。ラクスマリーナは今後も舟運を通して霞ヶ浦の水環境を良くし、再び「泳げる霞ヶ浦」が首都圏からの観光地となるよう努めてゆきます。



## サテライトつちうらに寄せて

茨城県霞ヶ浦環境科学センター 秋永吉隆

私が所属する茨城県霞ヶ浦環境科学センターは、平成7年10月に土浦市とその近隣を会場として開催された第6回世界湖沼会議において設立が提唱され、平成17年4月に開設されました。

以来、13年が経過した本年、再び本県において第17回世界湖沼会議が開催される運びとなり、サテライト会場の一つである「サテライトつちうら」の事業に関して、微力ながら実行委員として携われる機会に巡り合わせましたことは、誠に幸運なことと存じます。

また、3弾に分けたサテライトつちうらの事業が、関係者の皆様方の並々ならぬご尽力により、盛大に開催されますことに、深く敬意を表する次第でございます。

サテライト事業に携わる中では、7月の「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」で行われたハイスクール会議の様子を垣間見て、高校生の瑞々しい姿に将来への期待を抱き、8月25日の当センター夏まつりにおいては、サテライトつちうら事業の第2弾となる流域連携市民会議が開催され、当センターがサテライト事業に多少なりともお力添えができたならば幸いです。

さらに、第3弾のメイン大会においては当センターの取り組みについて発表する場をご提供いただき、当センターの取り組みを周知できることに深く感謝いたします。

サテライトつちうらの事業を終えた後には、いよいよ世界湖沼会議の本大会が控え、関係者の活発な意見交換が行われることと存じますが、霞ヶ浦環境科学センターでは、世界湖沼会議の成果を踏まえ今後とも、市民、研究者、企業及び行政の4者のパートナーシップのもと、「調査研究・技術開発」「環境学習」「市民活動との連携・支援」「情報・交流」の4つの機能を効果的に発揮できる運営を目指してまいりますので、関係各位のご理解と御協力をお願い申し上げますとともに、関係各位の取組の成果が湖沼問題解決の新たな進展につながることを祈念いたします。

## 生命を守るために、世界湖沼会議に期待すること

土浦の自然を守る会 奥井登美子

今年の夏、生まれて初めて体温より高い気温を体験した私は、今まで自宅の外壁に蔦をからませて、クーラーをつけずにがんばってきたが、生命の危機を感じて、とうとう、クーラーをつけてしまった。

テレビのニュースでも毎日、熱中症の危険を警告していた。

日本人の老若男女すべての人が、生命を守るために、「異常気象と防災」を常に頭に入れて行動しなければならない時代に、なってしまったのである。

「一般市民が常に異常気象を意識して生活する」ということは、今までの日本の歴史の中に、なかったことである。

異常気象は日本だけよければいいというものではない。オゾン層の破壊、海水温の変化など、常に世界を視野に入れて行動しなければならない。

2015年9月、日本一美しい川の鬼怒川の洪水で、下流の常総地域で痛ましい水害が起こってしまった。

地域に、豊かな水源。「霞ヶ浦」をかかえた私たちは、霞ヶ浦を上手に生かして、究極の地域医療を実践していくしかない。

今回の世界湖沼会議で、中、高校生、主婦も、老人も、生命を守るために、今、私たちが地球に向けて何をすればいいのか、それを真剣に考えるきっかけにしたいとおもう。

## 第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員として

特定非営利活動法人 エコレン 山口博之

私たちエコレンは、「議論よりもまず実践・議論は実践のあとで」を活動理念とし、「茨城県地球温暖化防止活動推進員」を主体として、茨城県内で地球温暖化防止活動を展開している実践活動グループです。環境保全活動を通して地域社会の貢献に関する事業を行いながら、住みよい街づくりに寄与することを目的として2012年に発足しました。

主に学校や地域公民館などでの環境学習「地球温暖化と異常気象とは」、また「クールチョイスの推進講座」や「いばらきエコスタイルの実践」などの講話に加え、「廃ガラスを用いた体験クラフト」など、楽しみながら学ぶ環境学習を展開しています。

第17回世界湖沼会議サテライトつちうらの実行委員であるエコレンは、その気運醸成を図るため、土浦市の出前講座や公民館まつり等において、霞ヶ浦・筑波山・帆引き船をモチーフにした台紙を使い、作成指導に行いました。また、台紙には、子どもたちが『水に対して・霞ヶ浦に対しての思い』をメッセージとして記述してもらいました。

『お水を大切に使います・お水を汚さないようにします・ごみのポイ捨てはしません・油物は流さないようにします・給食は残さず食べるようにします』等々子どもたちなりに自分で考え、記載してくれました。

こうして作成された作品を、「より多くの人に見てもらい、世界湖沼会議に興味を持ってもらいたい」との思いから、4月17日～30日、7月24日～29日に土浦市民ギャラリーに展示し、併せて実際に制作できるワークショップも行い、たくさんの方に来場してもらい良いPRができたのではないかと思います。

サテライトつちうらメイン大会では、事前の9日～13日まで、作品展を開催します。作品数はおよそ1,000点程度になる予定で、見ごたえのある作品展になることでしょう。

また、世界湖沼会議本番の10月15日～10月19日までの開催期間中は、「つくば国際会議場」にも展示する予定です。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

## サテライトつちうらの開催によせて

いばらきコープ生活協同組合  
総合企画室 篠崎 勉

この度は「第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら」が盛大に開催されますこと誠におめでとうございます。

今年は10月15日から19日において第17回世界湖沼会議が茨城県つくば国際会議場をメイン会場として開催されます。そのサテライト会場のひとつである「サテライトつちうら」の実施と成功に向け、少しでもお役にたてることがあればと実行委員会に参加させていただきました。

今年の世界湖沼会議のテーマは「人と湖沼の共生、持続可能な生態系サービスを目指して」です。水は人が生活していくうえで決して欠かすことのできない大切な資源です。その水を供給してくれている湖沼の現状や課題を他人事として捉えることなく、より多くの方が自分自身のくらしと密接に関係しているということ、そして将来に向けて維持改善していくために何ができるのかを考え行動することが大切です。

いばらきコープでは県内の湖、川、海、森などをフィールドとして、組合員とご家族に自然環境の中での体験を学んでいただく「コープのがっこうシリーズ」を展開し、霞ヶ浦についても水質調査やプランクトン観察などの学習をすすめています。

また、世界湖沼会議の開催期間中、通しで実施される「展示会」と、「サテライトつちうら」の中で開催となる「土浦市環境展」において、いばらきコープが取り組んでいる環境活動についてお知らせをして参ります。

今回の世界湖沼会議の県内開催は、私たちが住む茨城県の水環境の現状についてあらためて身近に考える場であってほしいと考えております。その為にも多くの方に「サテライトつちうら」へ足を運んでいただき、霞ヶ浦を今まで以上に身近に感じていただけたら幸いです。



湖のがっこう（霞ヶ浦）

## 第13回土浦市環境展開催にあたり

土浦市まちづくり市民会議環境部副部長 西村良純

「土浦市まちづくり市民会議」は各地区市民委員会の中央組織として設立し、各市民委員会の活動などの情報交換の場として運営しています。当会議には六つの専門部会があり、環境に関しては「環境部」が中心となり、活動を実践しています。今回サテライトつちうら実行委員会に当会議代表として参加させていただきました。

当会議委員が所属する環境に係る団体には、「土浦市家庭排水浄化推進協議会」と「土浦市環境基本計画推進協議会」が組織されています。環境に関する各種キャンペーンや啓発活動、研修会を実施し、市民への展示、情報公開の場として「土浦市環境展」を開催しています。

この土浦市環境展は、格式張らない手作りイベントとして多くの方に身近な問題から環境への関心を深めてもらうため、平成18年度から継続して開催し今回で13回目となります。例年秋に開催しており、今年は第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018「サテライトつちうら」の一環として開催することとなりました。

今、世界は地球温暖化をはじめとした様々な環境問題に対して活発な議論や活動が展開されています。私たちも、ごみや湖沼の水質といった生活に密着したことから取組み、環境問題の解決に近づけていこうと活動を行っています。

この土浦市環境展を通して、少しでも多くの人々に身近な環境問題に関心を持ってもらい、小さなことから取り組む機会になれば幸いです。

また、今回の「サテライトつちうら」で実施されるいろいろな発表、講演、ポスター展示等のイベントを通じて、今まで以上に霞ヶ浦に親しみを持っていただくとともに、“環境に優しく住みやすいつちうら”を築いていくための工夫を、一人ひとりが考えていただく機会になるように祈念いたします。

## 「第17回世界湖沼会議サテライトつちうらメイン大会によせて」

一般社団法人土浦青年会議所 2018年度理事長 伊東博幸

23年を経て開催されます第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）茨城開催誠におめでとうございます。我々（一社）土浦青年会議所では、明るい豊かな社会を目指し地域資源である霞ヶ浦をまちづくり資源として様々な運動展開をしてまいりました。本年度は「サテライトつちうら」を通し霞ヶ浦の重要性を学び、霞ヶ浦の恩恵を受ける多くの方に自然環境との共生の大切さを再認識して頂けるようサテライト運営を目指します。

一般社団法人土浦青年会議所 環境政策委員会委員長 柏村泰孝

今回、土浦JCの環境政策委員会は、第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）サテライトつちうらメイン大会の開催に向けて壁画アート制作に携わって参りました。市内の中学・高校・専門学校の学生や多くの素晴らしいアーティストの方々にご協力して頂き、この大会を記念する壮大な壁画アート作品に携われたことを心より光栄に感じます。また、大会当日は壁画アートと同時にJ:COMスタジアム内でSDG'sに関するステージイベントも担当させていただきます。これらは、霞ヶ浦や周辺地域の環境保全などを啓発できるような内容となっております。地域のランドマークとなるよう、今回制作した壁画アート作品を多くの方々にご覧になって頂くとともに、今大会を機に、豊かな自然環境の継承と共栄を目指し、これからも更なる運動展開をして参ります。



### 振り返れば霞ヶ浦

土浦暮らしの会 代表 真山淑枝

湖畔から未来に向けて合唱した時から20数年、再び世界湖沼会議が茨城の地に巡って来た。思えば、この20数年の歳月は、世界湖沼会議とともに歩んできた感がある。

1993年のイタリアから始まり、アルゼンチン、デンマーク、琵琶湖、シカゴ、インド・・・、世界各地を訪ねる巡礼の旅もどうやら卒業を迎えることができそうだ。

湖沼会議は、世界各地の研究者による世界規模での学術的議論はもとより、行政や団体などの取り組みに触れることができるとともに、自分の置かれている環境を再認識し得る貴重な機会である。そして、そこから世界に向けて発信される数多くのメッセージは、私たちに勇気と感動を与えてくれ、ともしれば閉塞感に埋もれてしまいがちな私に元気とエネルギーを恵んでくれた。

目を閉じると、霞ヶ浦宣言とパートナーシップ構築の提唱、霞ヶ浦環境科学センターの開設、生活排水対策とアクリルタワシなど、色々な物事が走馬灯のように頭の中を駆け巡る。多くの猛者との出会いに感謝してやまない。

霞ヶ浦に危機を感じて40年、湖の様相も人々の感性もずいぶんと変わったものだと、自分の年齢を重ねて思うこの頃である。願わくば、霞ヶ浦を愛し憂う人が新たな道筋を見出し、さらなる未来に向け湖畔で歌う声を聞きたいものである。

## 霞ヶ浦が好き！

つちうらが好き！実行委員会 実行委員長 白井日出乃

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）の開催を心よりお慶び申し上げます。1995年の第6回世界湖沼会議から23年、2回目の開催です。私は第6回会議にも参加させていただきましたが、この会議で7項目からなる「霞ヶ浦宣言」が発表され、水環境保全活動へ市民参加を促進するまたとない契機となりました。

霞ヶ浦宣言の最後は次のように締めくくられています。

### 共通の理解に関する宣言

「我々は、湖の音に耳をかたむけ、人々、なかんづく女性と子供の声、また、科学の英知に深い注意を払おうではないか。さらに、過去の教訓に学んで将来の過ちを回避し、未来へのビジョンを描き、恒久的な持続性を達成することを期待する。我々の子供たちに、また、まだ生まれぬ子孫に対して恥ずかしくない遺産を残すために、このことを願うものである。」

そして、第17回世界湖沼会議の開催テーマは「霞ヶ浦（自然）の恩恵を未来に引き継ぐために 私たちのパートナーシップ」です。

今も昔も私たちは霞ヶ浦と共にあります。霞ヶ浦（自然）や郷土への愛、その素晴らしさを謳った歌がたくさんあります。そうした歌を通じて、霞ヶ浦（自然）の恩恵を認識し、その財産を残し、発展させていくために何が必要か、何が出来るかを一人一人が感じ、考えることができる場づくりをしたいと考えています。

つちうらが好き！実行委員会は様々なイベントを通じて土浦の街の今をもっと楽しんで、沢山の素敵な思い出を作る有志の集まりです。第17回世界湖沼会議へ参加できることを、実行委員を代表してお礼申し上げます。つちうらが好き！ライブ・うららマルシェは、参加された皆さんが共に体感し、一緒に創り上げる市民参加型の作品にしたいと考えます。音楽を通じて第17回世界湖沼会議に参加したことが、素晴らしい思い出となり、その想いのバトンを次の世代に引き継いでいきます。

## 霞ヶ浦と共に・・・四半世紀

NPO 法人水辺基盤協会 吉田幸二

な、な、なんと、気が付いたらサテライトつちうらの実行委員になっていました。で、最初の会議に顔を出したら、殆どが見知った方ばかりでした。

考えてみれば、バスフィッシングがしくてこの地に移り住んで25年が経過していました。そりゃ、知り合いも増えますよね。ましてや大好きな霞ヶ浦関連での事業ですもの見知った人が多くても違和感はありません。皆さん、本当に霞ヶ浦が好きなんですね。

僕も霞ヶ浦が大好きで、惚れ込んで、東京からこの地に移り住んだ外来種です。委員の皆さんの多くは土浦の在来種の方です。でも、在来とか外来とかを問わず、このように一堂に会して、仲良く一つの目標に向かって進むための会議ができる・・・素晴らしいですね。僕は自然界も同様だと思っています。

今回の世界湖沼会議に際して、在来種だとか、外来種だとかで生き物を差別するよりも、みんなが仲良く住める環境づくりに知恵を発揮するのが、我々人間の使命だと考えています。地球は一つ、生き物はみな兄弟・・・だと、根本的には思うのですよ。そんな思いで霞ヶ浦の清掃活動も始めて22年が経過しました。

これだけ便利になった世の中で、自然環境だけを昔の不便にしようなんてえことを考えるのは、まったく理に適いませんよね。世の中の全てが不便にならないと、公平とか平等と言う言葉は使えないのではないのでしょうか。

ところが、多くの皆さんが電気を使い、ガスを使い、捻ると水の出る水道を使い、ちょっと歩けばスーパーやコンビニがあって・・・こんな生活を享受しています。止められますか？ 無理ですよ。不可能ですよ。だからこそ、もっと謙虚になって霞ヶ浦を見つめましょう。

そんな思いを噛みしめたサテライトつちうら実行委員会でした。盛會を心より祈念しております。

## サテライトつちうらの開催に寄せて

霞ヶ浦グランドワーク  
会長 外塚 潔

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）の環境関連行事として「サテライトつちうら」が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。

また、私たち「霞ヶ浦グランドワーク」が実行委員会の一員として、ご協力できますこと誠に幸いに存じる次第であります。

霞ヶ浦グランドワークは「人と霞ヶ浦とのふれあいの増進」を願って、平成21年に結成され、霞ヶ浦の環境保全にとって水辺の自然再生が不可欠であるとの認識の下、霞ヶ浦をフィールドとした水辺の「自然再生」、「自然学習」、「景観保全」活動を行っています。

具体的には霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎地区自然再生事業のA・B工区における観察路の整備や除草・ゴミ拾い等維持管理、植物・魚類の定点観察を行ってまいりました。

霞ヶ浦は私たち流域住民にとってかけがいのない宝であり、漁業や水道水源としてばかりでなく、多くの分野でたくさんの恵みを楽しんできました。

それらの恵みを持続可能なものとし未来に引き継ぐことは私たちの責務であると考えます。

「サテライトつちうら」ではこのテーマに沿って、学生会議を始めとする様々なイベントが開催され、世界湖沼会議の本会議においても世界各国の関係者によって事例発表や活発な議論が行われることと存じます。

霞ヶ浦グランドワークは今回の世界湖沼会議の成果を参考とし、設立時の理念に沿った活動を行ってまいりますのでご協力の程よろしくお祈りいたします。

## 今後のつちうらに期待！

関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所  
副所長 小栗 幸雄

第17回世界湖沼会議サテライトつちうらメイン大会、開催おめでとうございます。

第1弾の泳げる霞ヶ浦市民フェスティバルから始まり、第2弾の茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつりと盛大に開催され、多くの来場者に、霞ヶ浦の魅力を発信できました。

前回の第6回世界湖沼会議では、多くの流域住民の方が参加し、市民活動が活発になる契機となりました。「土浦バイオパーク」や「水の交流館」などの施設を活用し、行政と市民が連携・協働し、水質浄化の取り組みがされてきた結果、近年はアオコの発生も少なくなり、透明度も良くなってきました。しかし、まだ水質改善目標には達しておらず、引き続き、啓発活動や対策が必要と思います。

今回、23年ぶりの世界湖沼会議開催となりましたが、当時活躍されていた霞ヶ浦市民協会を中心に、「世界湖沼会議市民の会‘18」が立ち上がり、このサテライトつちうらを盛り上げて頂き、本当に感謝しています。同じ歳月が過ぎ、皆様の年齢も上がりましたが、霞ヶ浦に対する熱い思いを感じています。

この思いと、霞ヶ浦からの多くの恵みと魅力を次世代に繋げていくため、今後も皆様と連携し、水環境改善の取組みを進めていきたいと思っております。

青年会議所を始め、若い人達を中心に、りんりんロードや水辺利用など、子供達が遊べる活気ある霞ヶ浦（つちうら）であり続けるように期待しています。



りんりんロード利用状況



自然観察会（自然再生地区）

## 泳げる霞ヶ浦を目指して！

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦導水事務所  
副所長 小池 聖彦

第17回世界湖沼会議「サテライトつちうらメイン大会」が盛大に開催されますことを、心からお祝いを申し上げます。また、開催にあたりご尽力されました実行委員会の皆様に深く敬意を表します。さて、茨城県での世界湖沼会議開催は、1995年以来となりますが、この23年間で霞ヶ浦の水質は少しずつではありますが、改善されてきています。

アオコが多く発生する年もありますが、流域の下水道整備や個々の家庭での排水処理など、流域のひとつひとつの水質改善のための取り組みが結実したものと思います。

今回、当事務所が参加したサテライトつちうらの第1弾「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」、第2弾「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」において、来場者の方から“霞ヶ浦は昔と比べたら、ずっときれいになっている！”との話を聞き、水質浄化が確実に進んでいると実感しております。

しかしながら、まだまだ目標とする水質の達成には至っておりません。今後も引き続き、流域全体での水質浄化のための取り組みが必要となります。今回のサテライトつちうら開催を契機に、更なる水質浄化の取り組みの進展に繋がることを期待しております。

また、当事務所が実施している霞ヶ浦導水事業も、霞ヶ浦の水質改善の一翼が担えるよう、関係する地域の方々に丁寧な説明を行いながら事業実施に努めて参ります。

次回（25年後？）の茨城県での世界湖沼会議開催時には、“泳げる霞ヶ浦”を眺めながら、市民の皆さんが世界の方々と湖沼環境について語り合えることを期待しております。

## サテライトつちうらメイン大会に寄せて

茨城県県民生活環境部環境対策課世界湖沼会議準備室  
鈴木 紀一

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）では、「人と湖沼の共生ー持続可能な生態系サービスを目指してー」をテーマとして、湖沼の有する恵みを持続的に享受していくためには、自然環境をどのように守り、どのように利用していくべきなのかについて、住民、農林漁業者、事業者、研究者、行政等湖沼に関わりを持つ全ての人々が、一堂に会して情報の共有、意見交換を行います。

会議開催に向けて、霞ヶ浦、涸沼、千波湖に近接する5つの市・町において、市民団体と連携しながらサテライト会場の取組を通じて、世界湖沼会議の周知と気運醸成に取り組んでいただきました。

土浦市はじめ市民、関係団体などにより組織されたサテライトつちうらにおきましては、霞ヶ浦の将来像を見出すことを目標として、ひとり一人が霞ヶ浦を取り巻く問題に関心を持ち、改善に向けて行動に移すための契機となるよう、3回にわたって様々な取組が行われました。心から感謝申し上げます。

特に、3回目のイベントとなる10月13日のサテライトつちうらメイン大会では、過去2回の取組及び成果を総括するとともに、土浦駅周辺の施設や霞ヶ浦、霞ヶ浦湖岸を有機的に結び、活動事例の発表や写真映像展、観光遊覧船、廃ガラスアートの展示のほか、サイクリングイベントや湖岸のゴミ拾いなど、多くの市民や関係者の参加・交流を図るための多彩な事業が企画され、未来に向けた提言なども行われます。

これらの取組の成果は、霞ヶ浦の未来像をテーマとして議論する本会議の霞ヶ浦セッションにおいて発表され、世界に向けて発信されます。

サテライトつちうらの取組が、一過性のイベントで終わることなく、湖沼に関わりを持つ様々な主体の協働がより一層促進され、また活動の裾野が広がることにより、今後の霞ヶ浦の水質浄化と自然の恵みの継承の契機となることを祈念いたします。

## サテライトつちうら第1弾「ハイスクール会議」

一般社団法人 霞ヶ浦市民協会 七野悟

『人と湖沼の共生』に必要なことは、人々に湖沼や水資源について考える機会を提供することだと思います。

第17回世界湖沼会議にサテライトつちうら実行委員メンバーとして参加させて頂き、主にハイスクール会議を担当して参りました。2017年7月には、翌年に迫った世界湖沼会議・ハイスクール会議に向けて、プレハイスクール会議を開催いたしました。2017年の12月からはハイスクール会議のキックオフ集会を開き、勉強会は12月から3月までで3回開催いたしました。

7月16日に向かえたハイスクール会議当日に、各高校が調査、研究した発表を聞き、ディスカッションの場にもオブザーバーとして参加して感じたことは、高校生達の霞ヶ浦や水資源に対する真剣な姿勢と熱い情熱でした。このような熱い情熱を持った人達は、自分達の住む地域の湖沼や水資源に深い関心を持ち、湖沼と共生していくことが可能な人達であろうと思います。高校生達は、サテライトつちうらのハイスクール会議が自分達の住む地域の湖沼や水資源について深く、真剣に考える機会となりました。

ハイスクール会議に参加した高校生達のような人々を増加させることにより『人と湖沼の共生』は可能になると思います。そのためには、より多くの人々に湖沼や水資源について、深く、真剣に考える機会を提供することが必要であると思いました。

サテライトつちうらは、自分にとっても、これから様々な活動をして行く上で、より効果的な手段にたどり着く良い契機となりました。

## 「第17回世界湖沼会議サテライつちうらメイン大会によせて」

土浦商工会議所青年部 会長 大竹 信長

### 第17回世界湖沼会議・土浦商工会議所青年部

私たちの住まう土浦及び近隣地域の経済は、古来より霞ヶ浦と共に繁栄してきました。

古くから商業の町として栄えた土浦は、今もなお継続的に霞ヶ浦からの恩恵をしっかりと受けながら、より一層の経済発展を遂げていこうとしています。

2018年3月には、土浦の玄関口駅西口に日本最大級の体験型サイクリングリゾートPLAYatreの竣工を迎え、サイクリングのまち土浦としての魅力をさらに向上していただきますと共に、全国から多くのサイクリストを迎え、地元商工業へ大きな貢献をいただいております。

土浦商工会議所青年部が長年支援を続けてきた、つくば霞ヶ浦りんりんロードでは、サイクリング中の視界に入る霞ヶ浦湖畔の四季折々な情景など、まさに大自然の恵みを肌に直接受けとめることが出来ます。

私たちは青年経済人として、この度の第17回世界湖沼会議におけるテーマ『人と湖の共生』を、『地域資源かすみがうらの地域経済活性化への有効利用』と捉え、霞ヶ浦を取り巻く魅力的なサイクリングロードや関連施設を本大会のステージとし、体験型サイクリングイベントや、霞ヶ浦より大いなる恩恵を受ける地元特産のレンコンなどを使った飲食ブースの設営をさせて頂きました。

私たち、土浦商工会議所青年部は、常に地域の健全な発展を目指し、豊かで住みよい郷土づくりに貢献します。

本大会にご来場されました方々が、この土浦湖畔の美しい情景と、サイクリングを楽しまれ、いずれまた再来いただきます事をご祈念申し上げ、サテライトつちうらメイン大会記念誌への寄稿とさせていただきます。



## 「泳げる霞ヶ浦」のために

土浦市消費生活連絡協議会 吉江 静江

土浦市消費生活連絡協議会が結成されて、本年度で43年になりました。

これまでに、多くの先輩の方々が活動に取り組み、日々消費生活にかかわる情報の収集と提供に努めてこられました。協議会には、水質浄化部会、生活改善部会、資源愛護推進部会、食生活研究専門部会の4部会があり、28名の会員がそれぞれの部会に所属して活動しています。また、消費展を開催して、それぞれの部会で、消費者により良い生活の意識の向上に役立てる情報を提供してきました。

私は水質部会に属し、毎日の生活に大きな役割を果たし、なくてはならない水の大切さを訴えて参りました。会場にいらして下さった多くの方々が、主旨を理解してくださるとおっしゃって下さっています。

土浦市では、今年度開催される第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）において、「泳げる霞ヶ浦を目指して」をテーマにサテライト会場が開催されます。私も、土浦市消費生活連絡協議会の代表として参画しています。

テーマの「泳げる霞ヶ浦」を目にしたとき、70年も前の幼き頃を思い出しました。東京から阿見町に転居し、地元の小学校に入学しました。学校から帰宅すると、弟や友達を連れだって霞ヶ浦（今の自衛隊のあたり）にシジミを捕りに行きました。大きなシジミがいっぱい採れたものです。夏になると、子供会でバスに乗って泳ぎに行きました。当時は、霞ヶ浦にもいくつかの湖水浴場があり、3～40年前まで賑わっていたようです。その後、様々な理由で水質汚染が進み、泳ぐことが出来なくなってしまいましたが、少しずつ水質改善も進んでいるようです。私も、霞ヶ浦の恩恵を受けてこの地に生活する住民の一人として、子や孫達の未来のために、微力ながら更なる水質浄化のために尽力していきたいと改めて決意いたしました。



# サテライトつちうら 開催結果



# 第17回世界湖沼会議サテライトつちうら 開催結果

## 1 経過

平成29年 8月 4日 第1回サテライトつちうら実行委員会

平成29年 8月30日 第2回サテライトつちうら実行委員会

平成29年10月 6日 第3回サテライトつちうら実行委員会

平成29年11月29日 第4回サテライトつちうら実行委員会

平成29年12月17日 ハイスクール会議キックオフ集会

平成30年 1月下旬 事例発表者の募集開始

平成30年 2月23日 第5回サテライトつちうら実行委員会

平成30年 2月下旬 広告協賛企業の募集開始

平成30年 4月17日 第1回メイン大会担当団体会議

平成30年 4月17日～30日 世界湖沼会議開催記念 廃ガラスアート作品展

平成30年 4月26日 第6回サテライトつちうら実行委員会

平成30年 5月上旬 みんなの湖沼写真コンテスト募集開始

平成30年 6月13日 第2回メイン大会担当団体会議

平成30年 6月22日 第7回サテライトつちうら実行委員会

平成30年 7月16日 **第1弾 サテライトつちうら開催 来場者数 約6,000人**  
**-泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル ハイスクール会議-**

平成30年 7月24日～29日 世界湖沼会議開催記念 廃ガラスアート作品展

平成30年 8月25日 **第2弾 サテライトつちうら開催 来場者数 約4,800人**  
**-茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 流域連携市民会議-**

平成30年 8月29日 第8回サテライトつちうら実行委員会

平成30年10月 1日 第9回サテライトつちうら実行委員会

平成30年10月 9日～14日

第3弾 サテライトつちうら-映像展 (13日まで), 廃ガラスアート大作品展-

平成30年10月13日 **第3弾 サテライトつちうら開催 来場者数 約10,000人**  
**-サテライトつちうらメイン大会-**

平成30年10月16日～平成30年10月21日 サテライトつちうら -みんなの霞ヶ浦展-

平成30年10月18日 **第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018) 発表**  
**-霞ヶ浦セッション サテライトつちうら事業報告-**

## 2 総括

土浦におけるサテライト会場の取組みは、「霞ヶ浦（自然）の恩恵を未来に引き継ぐために 私たちのパートナーシップ」をテーマに掲げ、第1弾として「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」、第2弾として「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」、そして本会議開催直前に第3弾として「サテライトつちうらメイン大会」を開催しました。

第1弾から第3弾のそれぞれの企画及び運営にあたり、様々な主体とのパートナーシップを発揮し、開催することが出来ました。

第1弾として位置づけた「泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル」は、1995年に茨城県で開催された世界湖沼会議を契機に設立された一般社団法人霞ヶ浦市民協会が、市民や各種団体、行政、事業者、とともに毎年開催している水辺のイベントで、23回目の今年も約30団体が参加しました。屋外では、カヌー、キャスティングゲーム、スラックラインなどの体験ブースや各種展示ブース、飲食ブース、移動動物園のほか、市内及び近隣の小学生による吹奏楽演奏、さかなクンのトークショーなどを、屋内では、市内及び近隣の高校6校の生徒により霞ヶ浦やその流域の将来像について発表し、お互いに話し合う「ハイスクール会議」を行いました。ハイスクール会議は、昨年12月のキックオフ集会を皮切りに、他校との交流の中で霞ヶ浦や流域に関する勉強会や実地研修を経験し、霞ヶ浦等に関する知識を深めてきました。

当日は、科学、化学、地学、経済、産業、文化など多岐にわたる視点から、霞ヶ浦の水質浄化や流域の地域経済、観光資源等への提言等が語られ、会場は約150名の聴衆とともに熱気にあふれました。ディスカッションでは茨城大学の黒田久雄教授が座長となり、生徒全員が顔を合わせながら意見交流を行い、まとめられた内容をフェスティバルのステージで発表しました。次代を担う高校生たちが、身近な環境に関心を持ち、持続可能な生態系サービスの実現について考え話し合ったことが、霞ヶ浦や流域の将来に活かされることを願っています。

第2弾として位置づけた「茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり」は、第6回世界湖沼会議を契機とし平成17年に茨城県により設立された霞ヶ浦環境科学センターを会場に開催され、毎年、8月末に開催されています。

今年度は、夏まつりを主催する同センターと連携して認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会が企画する流域連携市民会議を開催しました。テーマを「ココにあります★霞ヶ浦のミライーこれからの霞ヶ浦とその流域を知ろう、語ろう、考えよう」として、漁業者・農業者・林業従事者・里山保全のNPO及び大学生が、流域の視点から霞ヶ浦の魅力や保全、そして未来を語り、会場内の参加者と共に霞ヶ浦の将来像についてディスカッションを行いました。また、参加者には霞ヶ浦とその流域をよく知ってもらうためのクイズ大会を開催しました。

クイズ大会は、霞ヶ浦、漁業、農業、林業、里山に関連した問題が出題され、それをヒントパネルを見ながら解くというもので約560人の参加が得られ、霞ヶ浦流域の理解を深めることができました。

シンポジウムは、霞ヶ浦流域にて生業営む方々と保全活動を営む団体が一堂に会するというこれまであまり行われない形での開催が実現し、流域という視点で霞ヶ浦をとらえる大切さが共有のものとなりました。

本会議直前の10月13日（土）に土浦駅の周辺で実施したメイン大会では、NPO法人水辺基盤協会によるゴミ拾いにはじまり、土浦港では霞ヶ浦遊覧、カヌー体験等が行われ、一般社団法人土浦青年会議所に

よる SDGs クイズ大会，土浦商工会議所青年部による YEG うまいもの市とサイクリングイベント，NPO 法人エコレンが1年間の出前講座などによって作成した世界湖沼会議版 廃ガラスアート作品展示，一般社団法人霞ヶ浦市民協会によるみんなの湖沼「映像展」，つちうらが好き！実行委員会によるライブ&マルシェ，土浦市環境基本計画推進協議会による第13回土浦市環境展を開催し，多くの方のご来場をいただきました。

メイン会場となったL' AUBE 前の土浦港防潮堤には，土浦市内の高校生や専門学校生，有志のアーティストの方々による真新しい壁画が16作品完成し，訪れた人を魅了しました。メイン会場では，47団体のこれまでの活動発表が集まり，情報交換が行われました。多くの団体が実施する霞ヶ浦とその流域において自然の恵みを未来に引き継ぐための活動をそれぞれが感じとり，情報を共有することができました。発表者のポスターは，世界湖沼会議の本会議期間中を含む10月16日から10月21日まで，土浦駅前のアルカス土浦1階にあります土浦市民ギャラリーにおいて展示しました。

プログラム最後のパネルディスカッションでは，茨城大学農学部黒田教授のコーディネーターのもと，サテライトつちうら第1弾泳げる霞ヶ浦市民フェスティバルのハイスクール会議を担当した「一般社団法人霞ヶ浦市民協会」市村理事長，サテライトつちうら第2弾茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり流域連携市民会議を担当した「認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会」及川理事長，土浦以外の4ヶ所のサテライトとの連携・調整を図っていた「世界湖沼会議市民の会'18」吉田事務局長，霞ヶ浦の管理者である国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所小栗副所長，茨城県県民生活環境部環境対策課栗田課長の5名により，これまでの開催状況を踏まえたディスカッションを行い，次のような結論を得ました。

- ・霞ヶ浦への関心は多様であり、その環境問題は水質から生態系に関することに移行してきた。
- ・すべての関係者による話し合いを通じて連携し、互いに理解することが重要である。
- ・基盤、供給、調整サービスを維持しつつ、文化的サービスが享受できるように霞ヶ浦の将来像を再構築する必要がある。

今後もこのようなイベントや情報共有できる機会をとおして，お互いの理解を深め合い，市民・市民団体，事業者，研究者，行政のパートナーシップがさらに発展し，いつまでも全ての人に愛される霞ヶ浦であり続けることを目指して活動を継続して行くことを確認しました。



### 3 記録写真

#### (1) サテライトつちうら第1弾 泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル



土浦市 中川市長挨拶



(一社) 霞ヶ浦市民協会 市村理事長挨拶



ハイスクール会議 各高校よりの提言①



ハイスクール会議 各高校よりの提言②



ハイスクール会議 提言に対するコメント



ハイスクール会議 ディスカッション①



ハイスクール会議 ディスカッション②



ハイスクール会議 屋外ステージ発表





ハイスクール会議 全体集合写真



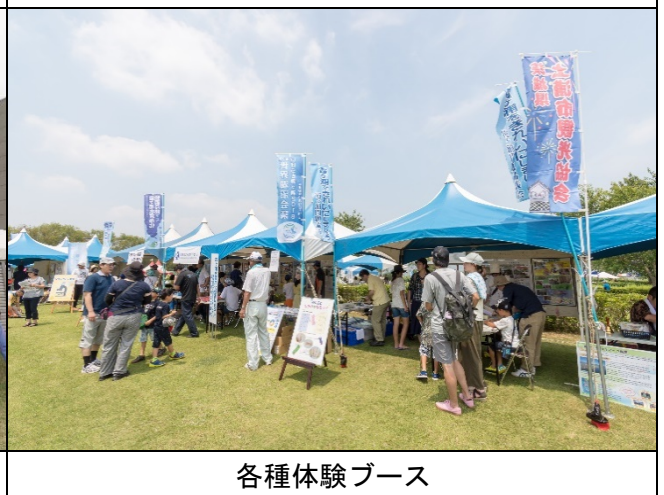
屋外ステージ



カヌー体験ブース



降雨体験車ブース



各種体験ブース



(2) サテライトつちうら第2弾 茨城県霞ヶ浦環境科学センター夏まつり



エントランスホール



クイズ大会



土浦市 五頭副市長挨拶



霞ヶ浦環境科学センター 福島センター長挨拶



認定 NPO 法人尖塚の自然と歴史の会  
及川理事長挨拶



特別講演「霞ヶ浦について」 相崎守弘氏（島根  
大学名誉教授・前霞ヶ浦環境科学センター長）



流域連携市民会議 発表①



流域連携市民会議 発表②及び会場風景





流域連携市民会議 ディスカッション①



流域連携市民会議 ディスカッション②



流域連携市民会議 ディスカッション③



屋内ブース



屋外ブース



(3) サテライトつちうら第3弾 メイン大会



オープニングイベント 亀城太鼓保存会



オープニングイベント  
土浦市立第二小学校合唱団



オープニングイベント 合唱団きんもくせい ・ 土浦市立第二小学校合唱団



開会式



開会式 土浦市 中川市長挨拶



開会式 茨城県県民生活環境部 齋藤部長挨拶



開会式 第17回世界湖沼会議  
サテライトつちうら実行委員会 阿部委員長挨拶





話題提供 土浦の自然を守る会 奥井氏



メイン会場 入口



メイン会場 ロビー



メイン会場 ポスターセッション



メイン会場 パネルディスカッション①



メイン会場 パネルディスカッション②



メイン会場 パネルディスカッション③



メイン会場 パネルディスカッション④





ゴミ拾い（陸上）



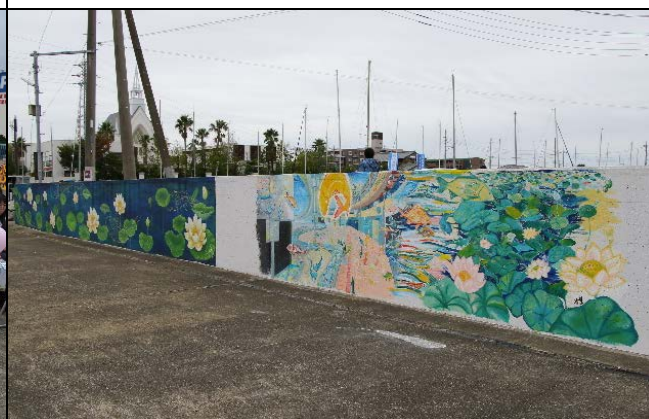
ゴミ拾い（水上・防塵挺身隊）②



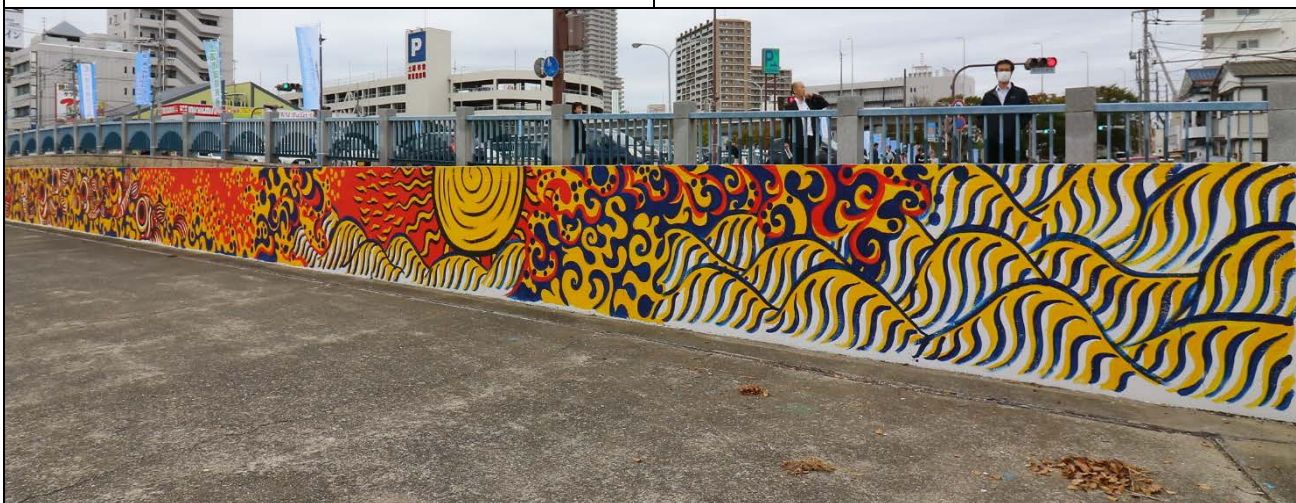
ゴミ拾い（水上・防塵挺身隊）①



防潮堤の壁画アート 完成セレモニー



防潮堤の壁画アート①



防潮堤の壁画アート②





霞ヶ浦観光遊覧船（ジェットホイルつくば号）



霞ヶ浦観光遊覧船（ホワイトアイリス号）



カヌー及びアクセスディンギー体験



SDGsクイズ大会&フラタヒチアンダンスショー



フラタヒチアンダンスショー



SDGsクイズ大会





YEG うまいもの市①



YEG うまいもの市②



YEG サイクリングイベント①



YEG サイクリングイベント②



YEG サイクリングイベント③



ランニングバイク試乗会①



ランニングバイク試乗会②





霞ヶ浦の恵み de お・も・て・な・し①



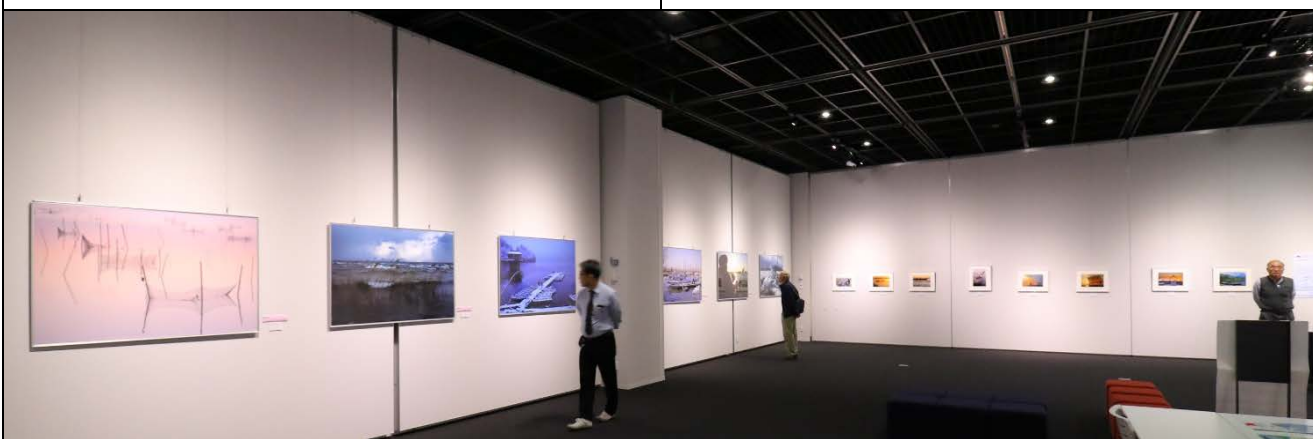
霞ヶ浦の恵み de お・も・て・な・し②



ミニ FM 放送局①



ミニ FM 放送局②



映像展（みんなの湖沼写真コンテスト入賞作品）

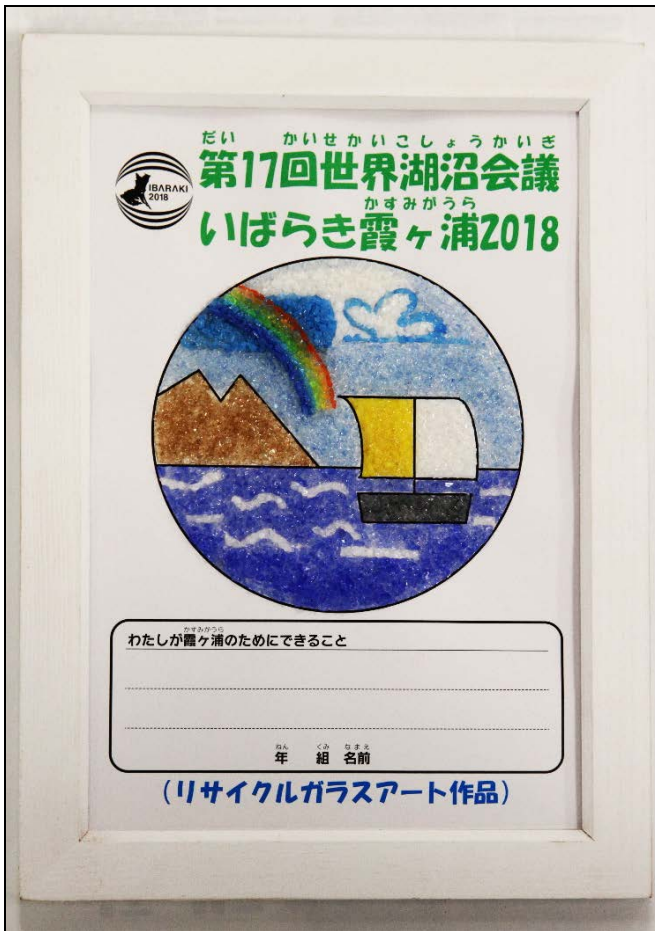


映像展（茨城県知事賞「厳冬の十和田湖」）



映像展（動画）





廃ガラスアート（第17回世界湖沼会議 ver.）



廃ガラスアート大作品展①



廃ガラスアート大作品展②



つちうらが好き！ライブ



うららマルシェ



つちうらが好き！ライブ&うららマルシェ





第13回土浦市環境展



環境展（ステージショー）



環境展（工作ブース）



市民団体・企業・行政による展示体験ブース①



市民団体・企業・行政による展示体験ブース②



市民団体・企業・行政による展示体験ブース③



市民団体・企業・行政による展示体験ブース④



協 贊





協賛

新しい幸せを、わかすこと。

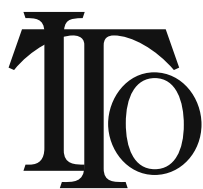


のあるくらし生産所



# 株式会社アールビー

泳げる霞ヶ浦を目指して!!



Thinking Eco.

株式会社 伊東商事

<http://www.kk-itoshoji.co.jp>

一般・産業廃棄物  
収集運搬処理業



お問い合わせはこちら

☎ 029-843-8181

協賛

精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売

# Oriental motor



オリエンタルモーター株式会社 土浦事業所



世界湖沼会議を成功させよう！

## ありがとう かすみがうら

カスミは地域に根ざした食品スーパーとして、  
お店づくりや環境活動を通して、  
お客さまと共に持続可能な社会の実現を目指してまいります。

株式会社カスミ  
〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1  
TEL.029-850-1850  
<https://www.kasumi.co.jp/>



従業員による環境保全活動



未来へ残そう、  
きれいな霞ヶ浦。



一般社団法人 土浦青年会議所

<http://www.tsuchiura-jc.jp>

きれいな水、応援します！



茨城県内の補水槽・浄水タンク・下水ポンプの  
塗装メンテナンスは(有)筒井塗装へ

本社:茨城県土浦市田中1-8-23 TEL:029-821-2561  
土浦店:茨城県土浦市虫掛3451 TEL:029-804-2210  
<http://www.tsutsuitosou.co.jp/>

協賛



豊かな大地、  
豊かな街を未来へ

HITACHI

Reliable solutions

ハイブリッド油圧ショベル  
ZH200-6

 日立建機株式会社

<https://www.hitachicm.com/global/jp/>

私たちは「第17回世界湖沼会議」  
を応援しています。



株式会社プラントサービス

〒300-0013茨城県土浦市神立町3615-1

☎ 029-830-1411    ✉ [info@plant-s.com](mailto:info@plant-s.com)

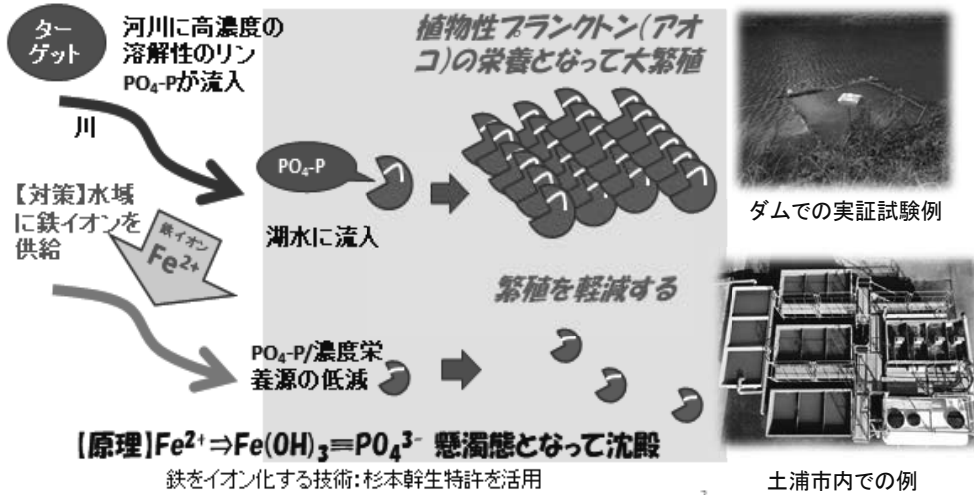
浄化槽・水処理施設の設計・施工・維持管理

支社・営業所

千葉 市原 水戸 栃木 群馬 埼玉 東京

祝・第17回世界湖沼会議(サテライトつちうら)

## 河川水のリンを軽減する取り組みをしています



企業グループ: 復建調査設計(株)・(株)ジオデザイン・(株)ゲット・岡三リビング(株)・無有産研究所  
 支援組織: 一般社団法人 A&Gエンジニアリング(東京都千代田区)  
 茨城県内連絡先: (株)ゲット つくば市(遠藤) Tel: 092-864-4419

## 霞ヶ浦の恵まれた水資源と豊かな自然に感謝

<青果卸売販売部>

### イナノベ流通青果

- 青果卸売販売  
-野菜・果物全般 -産地仲卸
- 野菜生産・販売



<インターネット販売部>

Mar L Berry  
-fruits market-

マルベリーくだもの本舗

季節の果物を厳選し、ギフト商品を中心に全国のお客様へお届けいたします。

- ◆ お祝いやお悔やみの贈り物をさまざまな果物で彩りよくお届け
- ◆ 旬の果物を産地箱のままシンプルにお届け
- ◆ ご予算に合わせた景品なども承ります。お気軽にご相談ください。



【楽天市場店】 <http://www.rakuten.co.jp/marlberry>

# 土浦南ロータリークラブ

会長 稲野邊 穰  
 幹事 高野 和彦

協賛

技術の力で、未来の力に。  
高機能な金属材料で実現します。



 株式会社 日立金属ネオマテリアル



土浦工場

〒300-0026

土浦市木田余3550番地

Tel : 029-826-7351

**誰でも楽しもう 霞ヶ浦**  
**(株) ラクスマリーナ**

ホワイトアイリス号 カヌー ヨット

足湯 BBQ オートキャンプ場

土浦市川口2-13-6 ☎029-822-2437

**(株) 横山印刷**

土浦市卸町2-6-6

☎029-830-4735

**(株) 阿部工業**

土浦市中高津2-1-8 ☎029-821-1209

 <p>公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部 The Institution of Professional Engineers, Japan</p> <p><b>技術を通して社会に貢献</b></p> <p>[活動事例] - 中小企業技術支援 - 理科教育支援 - 技術講演会開催等</p> <p>世界湖沼会議・サテライトつちうらを応援 世界に誇れる霞ヶ浦に!</p>	 <p>明日の世界をデザインする 総合建設 コンサルタント 八千代エンジニアリング株式会社</p>  <p>目視でアオコレベルを記録</p>
 <p>保険の総合コンサルタント 有限会社 アイガード</p> <p>本社 千300-0814 土浦市国分町2番27号 TEL 029-826-1820 FAX 029-826-1853</p> <p>石岡支店 千315-0038 石岡市旭台1丁目13番24号 TEL 0299-26-2460 FAX 0299-26-2548</p>	<p><b>(株) I・S・H</b></p> <p>土浦市上高津291</p>
<p><b>(株) アキラ</b></p> <p>土浦市天川2-12-4 ☎029-824-2525</p>	<p><b>Alfa運転代行</b></p> <p>土浦市上高津916-1</p>
<p><b>(株) 飯田興業</b></p> <p>かすみがうら市加茂3295 ☎029-897-0795</p>	<p><b>井坂税務会計事務所</b></p> <p>土浦市蓮河原新町1-32 ☎029-826-6061</p>
<p><b>市村電気工業(株)</b></p> <p>つくば市古来712-5 ☎029-857-4050</p>	<p><b>(有) イマノヤ</b></p> <p>土浦市白鳥町992-6</p>
<p><b>(株) エフ・エガサキ</b> e-Room</p> <p>土浦市桜ヶ丘町13-5</p>	<p><b>大島建設(株)</b></p> <p>土浦市下高津4-8-24</p>
 <p><b>Otsuka Tire Service</b></p> <p>茨城県土浦市田中3-8-39 TEL.029-822-1474</p>	<p><b>大山電機(株)</b></p> <p>土浦市城北町14-14 ☎029-821-1123</p>

<p><b>(有) オーム</b> 土浦市真鍋新町16-10</p>	<p><b>柏村ライスセンター</b> 〒315-0046 茨城県石岡市石川 783-2 TEL:0299-26-2776 FAX:0299-26-2776</p>
<p><b>清野博之税理士事務所</b> 清野 宏之 土浦市荒川沖東2-6-6 ☎029-842-2538</p>	<p>アルミ製品 鋳造・加工 <b>栗田アルミ工業 株式会社</b> 代表取締役 栗田杜浩 土浦市北神立町4-5 TEL029-831-0534</p>
<p><b>(有) 県南総合保険センター</b> つくば市梅園2-30-11 ☎029-852-1631</p>	<p> <b>あおぞら保育園</b> 土浦市上高津 1800-1 幸樹会 <small>社会福祉法人</small></p>
<p><b>Coca-Cola</b> BOTTLERS JAPAN INC.</p>	<p> <b>株式会社 佐藤石枝店</b> 各種石材輸入・施工・製造販売 〒300-0324 茨城県稲敷郡阿見町飯倉 1442-122 TEL 029-889-0145</p>
<p> <b>株式会社 翔建コーポレーション</b></p>	<p><b>(一社) しんらいの会</b> 土浦市下高津1-19-39 ☎029-875-4443</p>
<p> <b>はるか学園</b> 2018年10月 「はるか学園 神立」OPEN! 踏み出そう、笑顔で 広げよう、友達の輪と可能性。 特定非営利活動法人 新和会 はるか学園 所在地 〒315-0032 かすみがうら市下福吉1624-13 TEL 0299-57-1810 FAX 0299-57-1811 https://www.harukagakuen.jp/ ご質問、施設見学、随時受け付けております。 お気軽にお問い合わせ下さい。</p>	<p><b>せつた税務・不動産鑑定事務所</b> 土浦市天川2-22-18 ☎029-821-8241</p>
<p><b>(株) 高長建設</b> 土浦市乙戸3-124</p>	<p>解体工事業 <b>高野工業 (株)</b> 代表取締役 高野 竜也 かすみがうら市岩坪598-1 ☎029-896-0459</p>
<p><b>(株) 高野商店</b> 土浦市荒川沖271 ☎029-842-3115</p>	<p> <b>Taki Guchi Body Shop</b> Auto Body Refinishers</p>

<p><b>田中冷設工業(株)</b> 土浦市永国157</p>	<p><b>(株)千代田興業</b> 代表取締役社長 君山 毅 土浦市神立中央5-35-6 ☎029-831-1741</p>
<p><b>筑波通商(株)</b> 土浦市大町8-8</p>	<p><b>筑波トラスト(株)</b> 土浦市桜町3-13-6</p>
<p><b>土浦タクシー (株)</b> 代表取締役 小城 豊 土浦市大和町8-10 ☎029-821-5324</p>	<p><b>TWENTY Inc.</b> Original T-shirts Sign &amp; Sticker Design &amp; DTP <a href="http://twentyinc.co.jp">http://twentyinc.co.jp</a></p>
<p><b>(有)鈴木波山堂印舗</b> 土浦市中央1-14-1 ☎029-821-5777</p>	<p><b>(株)花市場</b> 土浦市板谷6-648-1</p>
<p><b>ひたち野総合税理士法人</b> ●税務・経理・財務・会計・決算に関する業務 ●独立、開業支援に関する業務 ●経営相談・コンサルティング 〒315-0054 茨城県かすみがうら市福吉2-20-25 TEL 029-832-1185</p>	<p><b>ビッグサポート</b> 土浦市若松町19-10 都和不動産ビル2F-B</p>
<p><b>松本内科医院</b> 〒300-0850 茨城県土浦市中村東3丁目1-20</p>	<p><b>MARION(株)</b> 土浦市並木1-13-6雅ビル2F</p>
<p>明日の資源と環境を考える 安心して暮らせる循環型社会の形成をめざします 茨城県に日本最大の 産廃処理能力を 発揮しては <b>株式会社美浦クリーン</b> 〒300-0427 茨城県稲敷郡美浦村布佐1732 TEL 029-885-6271</p>	<p><b>雅電設(株)</b> 土浦市中834-3 ☎029-843-8588</p>
<p>厚生労働省認定一級葬祭ディレクター在籍 <b>株式会社メモワールしおん</b> 〒300-4111 茨城県土浦市大畑689-10 TEL 029-862-3905</p>	<p><b>焼肉 秀門</b> 土浦市大和町4-1東郷ビル7F ☎029-823-5529</p>

## 協賛

<p><b>(株) ユハラ</b> 土浦市荒川沖475-3 ☎029-842-3121</p>	<p><b>吉川一郎一級建築設計室</b> 〒300-0817 茨城県土浦市永国253-2 TEL: 029-823-8755</p>
<p>日本料理・鮨 <b>よし町</b> 土浦市中央2-9-28 ☎029-823-9331</p>	

## 物品提供

- 【刷毛・副資材】大塚刷毛製造（株），（株）イバト
- 【塗料】大日本塗料（株），（株）イバト，（有）筒井塗装
- 【ワカサギ・カワエビ】霞ヶ浦漁業協同組合






# L'AUBE

*kasumigaura*

*Haute couture wedding*

L'AUBEで叶えるお二人の想いを込めたウエディング



土浦駅東口から徒歩5分の好立地！  
ホワイトカラーを基調としたチャペル  
モダンな息吹を吹き込んだ本格神殿など  
ご希望に合ったスタイルでの  
ウエディングが叶います。  
ウエディングはもちろん  
ご宴席や七五三もお承りしております。

ローブ 霞浦観光ホテル株式会社  
〒300-0033 茨城県土浦市川口 2-11-31  
TEL 029-875-8888  
FAX 029-875-8885





第17回世界湖沼会議サテライトつちうらは、以下の団体から助成を受けています。  
公益財団法人河川財団「河川基金」/公益財団法人本田記念財団/  
公益信託「エコーいばらき」環境保全基金/いばらきコープ環境基金

